

令和6年度第1回 高時川濁水問題検討会議で出された意見等

日 時:令和6年11月12日(火)14時00分～16時30分

場 所:長浜市役所高月分庁舎 3B会議室

出席委員:(学識経験者)原田委員、倉茂委員、大久保委員、吉村委員、五味委員、
(地元関係者)宮崎委員、前川委員、片山委員、向田委員、阪田委員、桑原委員(代理)

A委員(学識経験者)

- ・地形学の観点から、流域全体がどうなっているのかを考えることが大切。
- ・高時川は断層の影響で非常に珍しい地形であるので、そういった視点で対策等も検討してほしい。

B委員(学識経験者)

- ・針川堰堤の補修について、壊れる前に溜まった土砂はどうされたのか。掘削時に泥やシルトは見られたか。

(回答:琵琶湖河川事務所)

- ・施工にあたって掘削が必要な土砂は持ち出している。掘削した際に泥などはあまり出なかった。

C委員(学識経験者)

- ・濁水発生以前のもとの状態に戻っているのかは、濁度の推移を見ることで回復傾向にあるのかどうかがわかると思う。
- ・資料の濁度計測データを見ると、全体的には透明度は上がってきていると思われる。

D委員(学識経験者)

- ・高時川流域全体のすがたをもう少し整理する必要がある。
- ・川の状況だけでなく、森林の密度や樹種構成を踏まえ、本来土砂はもっと細かな支流(森林域)から出てくるので、そこを分析すべき。
- ・河床内の地形の変化について、もっとモニタリングすべきではないか。計測をしっかりとしながら、どう変わっていくのか、川の流れをどう変えていくのか、具体的にどこに対策をしていくのかを検討してほしい。

E委員(学識経験者)

- ・大久保委員や県の濁度調査のデータをもとに流量も加味して分析し、濁りが収まってきているのかどうか次回の検討会議で報告したい。

F委員(地元関係者)

- ・高時川から取水しているが、濁水は収まってはきている。
- ・豪雨直後は用水路に泥がたまったりして自治会や農業者から撤去に対する支援の要望があった。
- ・当時は泥水による揚水ポンプの故障等も見られ、以前よりも耐用年数が短くなり対応に苦慮している。
- ・漁業だけでなく、農業においても地元負担等影響は大きいということを知ってほしい。

G委員(地元関係者)

- ・大見こいの広場のキャンプ場に聞くと、今年度はだいぶ濁水は収まってきている。
- ・アユの特産品化を目指しているが、キャンプ場をはじめとした施設等に観光客を呼び込み、交流人口も増やしていきたいが、濁水問題がおきると停滞し地域が疲弊してしまう。検討会議で情報を共有しこれらの問題解決に当たりたい。

H委員(地元関係者)

- ・地域の地下水が干上がったことから、昨年度の検討会議でそのことを報告させていただいた。
- ・令和4年には大きな雨が降り、ここ2年程は大きな降雨はないが、住民の生命を守るとともに、貯水という観点でも、ダムがあった方が良いと思う。
- ・かつて計画されていた丹生ダムは中止されたが、一度中止されたものでも何とか復活できないか検討してほしい。

(回答:水源地域対策室)

- ・気候変動を踏まえ、様々な方法で治水計画を検討していく。

I委員(地元関係者)

- ・濁水が収まってきて安心している。
- ・濁度だけでなく生物の数といったような、生物保護の観点で数値化(モニタリング)を検討してほしい。

(回答:森林保全課)

- ・今後の課題としたい。

J委員(地元関係者)

- ・濁水の減少は対策の結果ではなく流れ出る細かな土砂そのものが少なくなってきていることによるもの。
- ・濁りは引いたが河床内に土砂の堆積が見られ、令和4年8月の豪雨前と後とで川の様子が大きく変わっており、アユの生息できる環境は回復していない。

- ・アユの餌場となる頭大の大きな石の上に小さな砂礫が堆積して河床が上昇しており、なんとかこれらの土砂を取り除いてほしい。河床耕うんを実施してほしい。
- ・実施釣り人も以前より少なく6割ぐらいであり、漁協にとっては死活問題である。
- ・大音波谷川での治山堰堤について、予算等の問題もあり難しいと思うが、一刻も早く設置してほしい。
- ・スキー場跡地において風力発電施設が計画されているが、もろい泥岩層のところで尾根を削り自然改変することについて、さらに土砂災害や濁水が生じることにならないか懸念している。
- ・スキー場の二の舞にならないよう、琵琶湖環境部としてこの問題に対応してほしい。

(回答:長浜土木事務所)

- ・土木事務所では、土砂が流れてきて河道が閉塞し水の流れを阻害するような状態となったところについて、優先的に土を浚渫している。

(回答:水産課)

- ・河床耕うんは、水産多面的機能発揮対策事業として他の漁協でも実施されているので、取組について検討してほしい。

(回答:湖北森林整備事務所)

- ・大音波谷川での治山堰堤については、再来年度中にできたらと考えているが、出来るだけ前倒しするよう努力したい。

(回答:森林保全課)

- ・風力発電事業を所管する環境政策課は同じ琵琶湖環境部であり、要望いただいた内容を同課に伝えるとともに連携していきたい。

K委員(地元関係者)

- ・大きな岩がある所の方がアユの生息には良い。
- ・細かな礫が堆積しているようなところにはアユは生息せず、釣り人も寄り付かない。

9 座長まとめ

(座長)

- ・短期的な対策としてやれることにベストを尽くすとともに、中長期的に高時川の流域をどうしていくのか、濁水だけでなく他にも様々な問題が起こっているという前提で対応していくことが必要。
- ・風力発電事業については、この会議の趣旨ではないが、関連する事項だと思うので、事務局としてきちんと受け止め、今後の議論の中で反映できるようにしてほしい。